

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月8日

評価対象事業		評価者	環境施設課長	谷川 克也
環境-12	実施事業	ダイオキシン類削減対策施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	環境汚染の防止

1 事業の目的

対象	名越クリーンセンター等
意図	処理施設の整備及び適正管理を図るため。
効果	一般廃棄物の適正処理が図られる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

・名越クリーンセンター周辺環境調査(土壌及び大気環境調査)を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	1,274	2,316	当初予算(千円)	2,310		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	1,274	2,316	一般財源	2,310		
事業経費運営	人員配置数	0.2	0.2	人員配置数	0.2		
	人件費(千円)	1,540	1,592	人件費(千円)	1,597		
	総事業費(千円)	2,814	3,908	総事業費(千円)	3,907		
	市民1人当りの経費(円)	16	22	市民1人当りの経費(円)	22		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	周辺環境調査は焼却を行う上で、焼却施設周辺への影響を確認することを地元住民と協定書で締結して行っている調査であることから現状維持とした。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・周辺環境調査は、焼却施設周辺への影響を確認するため、必要な調査であり、引き続き名越クリーンセンター周辺の土壌及び大気調査を実施し、周辺環境に影響のないことを確認していく必要がある。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	・引き続き、名越クリーンセンター周辺地域の土壌及び大気環境調査を実施し、周辺環境に影響のないことを確認する必要がある。
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	・名越クリーンセンター周辺地域の土壌及び大気環境調査を実施し、周辺環境に影響のないことを確認した。
未解決の課題、新たな課題とその理由	・なし(現在、環境基準に全て適合しているため)

- 解決
 一部解決
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	環境基準に適合						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
周辺環境へ影響を及ぼすことがないように焼却施設の運転管理を行っていることを確認する必要があるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	例年、調査結果は環境基準値に適合しており、焼却施設の運転が周辺環境に影響を与えていないことを確認している。
-----------------------	---